

授業科目 南アジア文化研究	単位 2単位
授業担当者 三尾 稔	授業期間 後期
<p>授業の題目と概要</p> <p>「インドのナショナリズムと宗教」</p> <p>上記のテーマに関し、講義形式で授業を行う。インドの「宗教」は植民地政策の影響を強く受けつつ、ナショナリズム運動を通じて現在の姿へと析出してきた。人びとの宗教実践も、その時々々の政治や社会状況の影響を受けながらダイナミックに変動し、現代においても急速な変容を遂げている。講義では、特に「ヒンドゥー教」の形成と変容に焦点をあて、植民地支配から現代の宗教ナショナリズムに至るまでの歴史的経緯をたどり、インドの「宗教」伝統の動態に迫る。</p>	
<p>授業の内容と計画：以下のようなテーマに触れつつ講義を進めてゆく</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 植民地時代以前のインドの「宗教」 2. 植民地支配とインド社会－「カースト」と「宗教」の創造－ 3. ミッションとインドの宗教 4. 独立運動と宗教アイデンティティー 5. インド・パキスタンの分離独立と宗教 6. インド的セキュラリズムと宗教－ネルー時代の政治と宗教 7. 宗教ナショナリズムの再興と隆盛 8. イデオロギーと宗教実践－聖者廟と都市祭礼 <p>(最後の2つのテーマに関する講義では教員自身の調査データを提示しながら現代インドの「宗教」の多様な様相を講述する。)</p>	
<p>使用する参考書、参考論文等</p> <p>教科書は特になし。参考文献は必要に応じて講義の中で紹介するが、講義を受ける前に、下記の参考文献を一読しておくことをおすすめする。</p> <p>小谷汪之 『ラーム神話と牝牛 ヒンドゥー復古主義とイスラーム』 平凡社 1993年 van der Veer, Peter. <i>Religious Nationalism: Hindus and Muslims in India</i>. University of California Press. 1994</p>	
<p>成績評価基準</p> <p>授業への出席状況と後期の前後半各1回提出するレポートによる</p>	
<p>その他の留意事項</p> <p>特になし</p>	